

2025

2

vol.190

千代川
news

清流くん

千代川水系

流域治水プロジェクトを推進しています

「流域治水」とは、集水域・河川区域・氾濫域を一つの流域と捉え、流域に関わる全員で水害を軽減させる考え方で、千代川水系においても流域に関わるあらゆる関係者が協働して、水災害対策を進めています。



降った雨が地表を流れて
川に流れ込む範囲

洪水が起きたときに、
川から水が溢れて
浸水してしまう範囲



「流域治水プロジェクト」
の詳しい取り組み内容は、
ホームページに記載！
https://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/river/conference3/ryuiki_pro.html

流域治水対策の
3つの分類

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らす

遊水地



大雨で河川の水位が上がったときに水を一時的に貯める

田んぼダム



田んぼに貯められる水の量を増やして氾濫する水の量を減らす

② 被害対象を減少

住宅や避難所の建替え



あらかじめ建物や工場を浸水に強い構造にしておくことで、被害を小さくする

③ 被害の軽減・早期復旧

浸水深表示板・ハザードマップ



被害のリスクを周知することで、「逃げ遅れゼロ」を目指す

進む
災害復旧

災害復旧前



災害復旧後

鳥取市用瀬町別府「佐治川」

令和5年台風7号の出水により被害を受けた千代川水系の箇所は、県管理河川の佐治川、私都川、曳田川など173箇所、災害復旧工事により令和6年12月までに約6割が復旧しました。今後も市町と共に工事を進捗させ、早期復旧を進めていきます。(鳥取県技術企画課 県土整備事務所)

11月18日は「土木の日」

土は「十一」に、木は「十八」に分解できるという語呂あわせから、11月18日を土木の日とし、全国で様々な催しが行われています。

千代川流域でも、千代川の維持工事に関わる業者が集まり、鳥取市立河原あゆっこ園の園児の皆さんに、社会を支える『土木と河川管理の楽しさ』を伝えました。土木業はみなさんの生活を支える上で、必要なお仕事です。たくさんの方のご協力と就業を期待しております(^▽^)



殿ダム貯蔵ワイン搬入式を行いました

殿ダムの監査廊内におけるワイン貯蔵が始まったことにあわせ、11月20日に「殿ダム貯蔵ワイン搬入式」を行いました。殿ダムにワインを貯蔵するこの取り組みは、殿ダム水源地域ビジョン※における行動計画のひとつである「地域活動の推進」の一環として行っています。



※殿ダム水源地域ビジョンとは

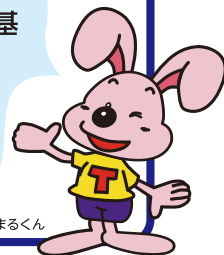
地域の住民のみならず鳥取市の広域な人々の理解や共感を得ながら、多くの人々の参加によって、因幡の自然と文化を生かした地域づくりに取り組むものです。目標と基本方針を掲げ、それを基に行動計画を設定しています。

行動計画の3つの柱

自然や歴史
文化の活用

地域活動の
促進

地域情報の
発信



殿ダマスコットキャラクター とのまるくん

刈草・流木を提供します

資源の有効活用に取り組むため、千代川の堤防除草で発生した刈草や、河口に流れ込んだ流木を無償で提供しています。流木に含まれる塩分は概ね0.3%未満です。ご希望の方は、下記窓口へご連絡ください。

お問い合わせ先 河原流域治水出張所 TEL:0858-85-0517



かっぱっぱ通信

事務局
だより

刈草・流木を活用ください。過去には、刈草は果樹園や牧場の方に提供したほか、流木はアートに利用された方もいます。

お知らせ 次号の千代川ニュース、4月号は3月下旬発行の予定です

(発行・編集) 〒680-0803 鳥取市田園町4丁目400番地 千代川流域圏会議事務局
国土交通省中国地方整備局 鳥取河川国道事務所 河川管理課 TEL0857-22-8435 FAX0857-29-1859

今までの千代川newsは、ホームページでご覧いただけます。 <https://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/river/conference/>